

科目名 クラス 講義区分	科目ナンバリング	曜日	科目名 クラス 講義区分	科目ナンバリング	曜日
国際政治事情研究 <通期>	POLS2440	月3			

【教員氏名】  
松村 昌廣

【単位数】  
4 単位

【授業形態】  
『講義』

【講義・演習概要】  
政治学、社会学、経済学など社会科学の基礎をよく理解した2・3・4年生を念頭に講義を行う。また当然、高校の世界史、日本史、地理、政治経済、現代社会などの関連科目をよく学習してきたことを前提に行う。  
この講義では発展途上世界を比較分析に必要な基本的な発想、着眼点、分析手法を会得するためはじめに初歩的な理論的考察を行い、その後いくつかの重要なケーススタディーに取り組む。  
しかし、広大な発展途上世界を全てカバーすることは不可能であるから、多様な理論の適用可能性、時事的重要性に鑑み、この「授業計画」にあるように、大きく分けて3つのテーマを取り扱うこととする。この講義により発展途上国を対象とする地域研究において政治、経済、社会の諸側面から、いかに総合的な分析に取り組むかを実例を示しながら学生に理解させたい。

【学習（到達）目標】  
資料、特にビデオ映像等を活用して、全体としては初級レベル、時として中級レベルの講義内容になるよう講義を進める。ただし、ここでいう「初級レベル」というのは簡単という意味ではない。当然、高校レベルの知識、大学生としての社会科学の思考や基本的知識を習得していることを想定している。

【講義・演習計画】  
第1回：国際関係論と地域研究  
第2回：システム論的アプローチ  
第3回：比較研究アプローチの危機・・・「理論の島々」  
第4回：民族紛争 (1) アイデンティティ、宗教、民族  
第5回：民族紛争 (2) ユーゴスラビア紛争  
第6回：民族紛争 (3) コソボ紛争  
第7回：民族紛争 (4) その他の民族紛争  
第8回：民族紛争 (5) フランスにおける移民問題・・・アラブ系移民を中心に  
第9回：民族紛争 (6) 総括  
第10回：国際テロ・アフガン問題 (1) 国際政治と宗教（イスラム教）  
第11回：国際テロ・アフガン問題 (2) 国際政治と宗教（ユダヤ教）・・・イスラエルを焦点に  
第12回：国際テロ・アフガン問題 (3) 中東戦争  
第13回：国際テロ・アフガン問題 (4) アフガン反テロ作戦  
第14回：国際テロ・アフガン問題 (5) イラク戦争  
第15回：北朝鮮 (1) 朝鮮半島の戦略的位置付けと地理的要因  
第16回：北朝鮮 (2) 朝鮮半島の歴史・・・戦争と平和の観点から  
第17回：北朝鮮 (3) 北朝鮮の政治と社会  
第18回：北朝鮮 (4) 北朝鮮の国際行動・・・不法活動を中心に  
第19回：北朝鮮 (5) 北朝鮮と日本の関係・・・経済・金融関係を中心に  
第20回：北朝鮮 (6) 日本の安全保障に与える影響  
第21回：中国 (1) 中国大陸の地理と戦略環境  
第22回：中国 (2) 中国の歴史・・・戦争と平和の観点から  
第23回：中国 (3) 中国の近現代史・・・国内的混乱と国際関係  
第24回：中国 (4) 中国の現状・・・社会的不均衡拡大と政治的安定性の問題  
第25回：中国 (5) 日本の安全保障に与える影響  
第26回：中国 (6) まとめ  
第27回：日本の経済体制と歴史的経験 (1) 満州国と1940年体制  
第28回：日本の経済体制と歴史的経験 (2) 戦時動員体制と戦後復興  
第29回：日本の経済体制と歴史的経験 (3) 高度経済成長の成功と矛盾  
第30回：試験とまとめ

【成績評価の方法】  
試験評価：50%  
授業に対する積極的な姿勢 50%

【テキスト】  
松村昌廣『動揺する米国覇権』（現代図書）

【参考文献】  
E・H・カー『危機の20年』（岩波文庫）  
モーゲンソー『国際政治』（福村出版）  
シューマン『国際政治』（東京大学出版会）

【事前および事後学習の指示（事前学習 60 時間 事後学習 60 時間）】  
テキストを予習復習に使うこと。また、参考文献にあげた書籍を読むこと。

【キーワード】  
国際関係、国際政治、地域研究